

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大森小学校		No.	122	担当部署名	教育部総務課	
大分類	05学校教育系施設						
小分類	小学校（校舎・体育館）						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画			
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。OR5から耐震補強・大規模改修工事を予定していた大森小学校は、一旦立ち止まり「学校再編の考え方」の見直しに合わせて、対応方法を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定。原則「学校再編を行わない」） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討）		・長寿命化計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。
第2期	2022年度 ・学校施設危険度調査実施 ・大森小学校大規模改修工事の実施を一旦取りやめ	目標・取り組みを達成	・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・児童・生徒数の急減及び調査結果を受け「大田市学校のあり方実施計画」のうち「学校再編の考え方」の見直しに着手。
	2023年度 ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） ・大田小学校の改築も含めた対応を検討		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和29年
建物延面積	1,462.60 m ²
構造	木造
耐震の有無	不明(旧)
Is値	耐震診断未実施
摘要欄	急傾斜地の警戒区域内に立地、一部特別警戒区域に立地

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	学校教育法（昭和22年法律第26号）第29条及び第45条並びに第22条の目的を達成するため、別表のとおり小学校及び中学校並びに幼稚園を設置する。
適正化計画上の実施方針	「大田市学校のあり方に関する基本方針」を踏まえ適切に判断する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	174,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		174,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	168,080円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,575,250円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,743,330円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,569,330円	市民一人あたり税金充当額	-110円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,440円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-9,779円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧温泉津中学校		No.	123
大分類	05学校教育系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部総務課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・学校統合により用途廃止。 ・耐震性不足のため建物を再利用には、多大な経費が掛かるため廃止とする。 ・不動産を一括して民間譲渡する場合には、敷地内に敷設された水道本管の移設が必要であり、費用負担上、民間譲渡は困難。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
独自	譲渡方法及び解体時期検討							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	土地建物の一括民間譲渡を目指し、敷地内の里道等を整理し準備するが不調に終わる。		敷地内の水道管移設 耐震性能不足建物の譲渡 土砂災害への対策
第2期	2022年度	譲渡方法及び解体時期検討	取り組みが実施できていない	
	2023年度	庁内協議		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和40年
建物延面積	4,014.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準未満)
Is値	0.51
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接 運動場の一部は土石流の警戒区域

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	民間移管または地域移管を原則とする。ただし、民間移管、地域移管さらには、用途を変更しての活用が困難な場合は現施設を廃止する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧温泉津小学校		No.	124
大分類	05学校教育系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部総務課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度、継続的に民間活用がなされており民間移管を検討したが、不調となった。近年の建物利用率は減少している。 ・耐震性能不明のため使用制限も検討する必要がある。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 地域の交流拠点として利用。 民間活用に向け民間業者の施設視察を実施。 用途廃止に向け、地域と協議。 		<ul style="list-style-type: none"> 耐震性能不明の建物を利用するリスク。交流施設利用者の減少。 河川の増水による全面道路の浸水被害対策及び、土砂災害対策。
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 用途廃止に向け、地域と協議。 	取り組みが実施できていない	<ul style="list-style-type: none"> 建物利用率は減っており、廃止検討。 建物の老朽化により危険建物となる可能性が高い。
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 庁内にて方針検討 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	1,830.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	不明(旧)
Is値	-
摘要欄	耐震診断未実施。急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接。運動場の一部は土石流の警戒区

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	民間移管または地域移管を原則とする。ただし、民間移管、地域移管さらには、用途を変更しての活用が困難な場合は現施設を廃止する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	11,000円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		11,000円		※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		-11,000円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-6円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-30円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	志学教職員住宅		No.	125
大分類	05学校教育系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・教員住宅としての需要が無く既に利用中止が続いている。2021年度、規則廃止。 ・自主防災施設として志学まちづくり協議会に貸付中。 ・地元移管が不調であれば、民間公売を実施し不調であれば、教育目的に利用する見込みがないため廃止。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
	利用開始							
独自	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 志学まちづくり協議会、学校と協議 規則一部改正（当該住宅を削除） 		
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 地元と協議し移管を検討 	取り組みが実施できていない	
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 地元と協議し移管を検討 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和54年
建物延面積	80.01 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	耐震診断未実施

関連条例等	大田市教職員住宅貸付規則
設置(目的等)	この規則は、大田市教職員住宅（以下「教職員住宅」という。）の貸付けに関し必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	地域移管を原則とする。ただし、地域移管が困難な場合は現施設を廃止する。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	水上教職員住宅		No.	126
大分類	05学校教育系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部総務課
ブロック	高山
地区	水上

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・教員住宅としての需要が無く、利用中止が続いている。R3年度、規則廃止。 ・施設老朽化が進み、大規模改修がなければ再利用は不可能。 ・数度、民間から譲渡の申出があったが不調となっている。R5も入札を行ったが不調となった。民間移管が不調であれば、解体を検討する。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	民間移管(売却)								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況		<ul style="list-style-type: none"> ・規則は改正済み。 ・民間譲渡を調整したが不調。
第2期	2022年度	進捗していない	<ul style="list-style-type: none"> ・面積等の要件が合致せず、民間譲渡不調。
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	39.93 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震基準
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市教職員住宅貸付規則
設置(目的等)	この規則は、大田市教職員住宅（以下「教職員住宅」という。）の貸付けに関し必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	廃止とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北三瓶教職員住宅		No.	127
大分類	05学校教育系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部総務課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	・教員住宅としての需要が無く、利用中止が続いている。R3年度、規則廃止。 ・譲渡希望者があれば、譲渡を検討する。譲渡希望者がいない場合は、解体を検討する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
 ※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	民間移管(売却)								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	・規則一部改正（当該住宅を削除）		
第2期	2022年度	・公売等により譲渡を検討	進捗していない	
	2023年度	・公売等により譲渡を検討		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	80.01 m ²
構造	木造
耐震の有無	不明（旧）
Is値	-
摘要欄	耐震診断未実施 土石流警戒区域内に立地

関連条例等	大田市教職員住宅貸付規則
設置(目的等)	この規則は、大田市教職員住宅（以下「教職員住宅」という。）の貸付けに関し必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	廃止とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池田教職員住宅		No.	128
大分類	05学校教育系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部総務課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・教員住宅としての需要が無く、利用中止が続いている。R3年度、規則廃止。 ・譲渡希望者があれば、譲渡を検討する。譲渡希望者がいない場合は、解体を検討する。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	民間移管(売却)								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	・規則一部改正（当該住宅を削除）		
第2期	2022年度	・公売等により譲渡を検討	進捗していない	
	2023年度	・公売等により譲渡を検討		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	39.93 m ²
構造	木造
耐震の有無	不明（旧）
Is値	-
摘要欄	耐震診断未実施

関連条例等	大田市教職員住宅貸付規則
設置(目的等)	この規則は、大田市教職員住宅（以下「教職員住宅」という。）の貸付けに関し必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	廃止とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田教職員住宅			No.	129
大分類	05学校教育系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを中心に現在複数人が利用中。廃止の場合は、市営住宅入居等の代替措置が必要である。 ・大田市街地を中心に民間貸付住宅施設が多数あるため、市営の教職員住宅施設の存在意義が希薄になっている。 ・老朽化が進んでおり、大規模改修等は多額の事業費が見込まれるため安全を確保しつつ現況のとおり使用し、その後は廃止を見込む。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
	代替住宅確保							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	・方針を検討（直営として維持もしくは民間譲渡）		・直営施設として利用し、安全性確保が困難になった場合は廃止。 ・老朽化の進捗のため大規模改修ではなく建替えが必要であるが、民間住宅が多数設置されているため存在理由は希薄。
第2期	2022年度	・直営施設として当面利用。		
	2023年度	・直営施設として当面利用。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和62年
建物延面積	378.37 m ²
構造	鉄筋コンクリート
耐震の有無	新耐震基準
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市教職員住宅貸付規則
設置(目的等)	この規則は、大田市教職員住宅（以下「教職員住宅」という。）の貸付けに関し必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料収入	1,800,000円	家賃	施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,800,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	9,933円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		9,933円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		1,790,067円	市民一人あたり税金充当額	55円/人
	延床面積あたり税金充当額		4,731円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	4,904円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田幼稚園		No.	332	担当部署名	教育部総務課	
大分類	06子育て支援施設						
小分類	幼稚園						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画			
有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	教育部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> 「学校のあり方に関する実施計画」上、大田幼稚園は、大田保育と統合し連携型認定こどもへ移行。 現在、庁内で整備計画等の検討を継続的に実施中。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方の基本方針策定（方向性確立） ・幼稚園、保育園の利用者、施設管理者に説明（合意形成） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画及び関係者協議により方向性を決定
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備計画（認定こども園園舎等）の協議 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・計画のとおり内部、外部協議を継続的に実施
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備計画（認定こども園園舎等）の協議 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和62年
建物延面積	891.00 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	216,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		216,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	608,850円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,596,936円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		4,205,786円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,989,786円	市民一人あたり税金充当額	-123円/人
	延床面積あたり税金充当額		-4,478円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-10,931円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手幼稚園		No.	333	
大分類	06子育て支援施設				
小分類	幼稚園				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する						②民間移管 済
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度末に閉園。認定こども園に建物、土地譲渡。 ・R3、認定こども園開園に伴う民間工事。認定こども園開園。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	・認定こども園開園に伴う民間工事。認定こども園開園。		・予定どおり目標を達成
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和58年
建物延面積	730.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田小学校		No.	334	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、大田小学校では躯体自体に重大な損傷が発見された。大規模校である大田小学校は、他校への統合が困難であり改築も含めた早急な対応を検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取り組み状況 ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定。原則「学校再編を行わない」） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設危険度調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・児童・生徒数の急減及び調査結果を受け「大田市学校のあり方実施計画」のうち「学校再編の考え方」の見直しに着手。
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） ・大田小学校の改築も含めた対応を検討 	
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	7,841.93 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	837,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		837,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	519,635円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	12,191,159円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		12,710,794円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-11,873,794円	市民一人あたり税金充当額	-365円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,514円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-32,531円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久小学校		No.	335	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。長久小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、「学校再編の考え方」の見直しに合わせて市内全小中学校の統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討）		・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。
第2期	2022年度 ・学校施設危険度調査実施 ・市内全域に学校施設状況を説明	目標・取り組みを達成	・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度 ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分）		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成1年
建物延面積	4,542.82 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	394,500円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		394,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	623,602円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	7,170,030円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		7,793,632円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-7,399,132円	市民一人あたり税金充当額	-228円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,629円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-20,272円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛小学校		No.	336	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、五十猛小学校では躯体自体に重大な損傷が発見された。○五十猛小学校は、今後、児童数が急減する見込みであり、建物は改修により復旧できない状態である。このことから、建物の状態が比較的良好な他校への統合による緊急的な安全対応をする必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	学校統合の準備								
評価が達成される年度		2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） 大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設危険度調査実施 市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> 複数の学校に重大な損傷が発見された。 大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 五十猛小学校の統合準備協議会を設置し統合準備を開始する 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	3,536.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	284,500円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		284,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	689,711円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,435,462円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,125,173円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-4,840,673円	市民一人あたり税金充当額	-149円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,369円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-13,262円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静間小学校		No.	337		担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設								
小分類	小学校（校舎・体育館）								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画					
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度		改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	教育部総務課
ブロック	西部
地区	静間

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。静間小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、「学校再編の考え方」の見直しに合わせて市内全小中学校の統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） 大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設危険度調査実施 市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> 複数の学校に重大な損傷が発見された。 大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	3,660.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	285,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		285,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	316,010円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	5,391,398円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,707,408円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-5,422,408円	市民一人あたり税金充当額	-167円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,482円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-14,856円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳥井小学校		No.	338		担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設								
小分類	小学校（校舎・体育館）								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画					
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度		改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	教育部総務課
ブロック	西部
地区	鳥井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、鳥井小学校では躯体自体に重大な損傷が発見された。○鳥井小学校は、今後、児童数が急減する見込みであり、建物は改修により復旧できない状態である。このことから、建物の状態が比較的良好な他校への統合による緊急的な安全対応をする必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	学校統合の準備								
評価が達成される年度		2025年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） 大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設危険度調査実施 市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> 複数の学校に重大な損傷が発見された。 大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 鳥井小学校の統合準備協議会を設置し統合準備を開始する 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	2,886.45 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	253,500円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		253,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	991,309円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,095,377円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,086,686円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-4,833,186円	市民一人あたり税金充当額	-149円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,674円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-13,242円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手小学校		No.	339	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。久手小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、「学校再編の考え方」の見直しに合わせて市内全小中学校の統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設危険度調査実施 ・市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和62年
建物延面積	5,632.18 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	405,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		405,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	893,860円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	8,491,624円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		9,385,484円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-8,980,484円	市民一人あたり税金充当額	-276円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,594円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-24,604円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	朝波小学校		No.	340	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	東部
地区	波根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。朝波小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、今後、児童数の減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設危険度調査実施 ・市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	3,714.84 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	243,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		243,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	883,927円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	6,196,963円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		7,080,890円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-6,837,890円	市民一人あたり税金充当額	-210円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,841円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-18,734円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北三瓶小学校		No.	341	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。北三瓶小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、過小規模校であり、今後の児童数減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設危険度調査実施 ・市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	2,381.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	101,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		101,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	387,200円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,863,524円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,250,724円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,149,724円	市民一人あたり税金充当額	-66円/人
	延床面積あたり税金充当額		-903円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-5,890円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	志学小学校		No.	342	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。志学小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、過小規模校であり、今後の児童数減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設危険度調査実施 ・市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	2,137.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	137,500円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		137,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	150,420円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,545,995円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,696,415円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,558,915円	市民一人あたり税金充当額	-109円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,665円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-9,750円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池田小学校		No.	343	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> 「学校のあり方に関する実施計画」上、既存小学校は原則再編しない方針であったが、就学児童が逡減し学校統合の方向性となった。 R3年度に川合小への統合が決定し、R4年度に閉校、令和5年度に川合小へ統合した。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	川合小への学校統合準備								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 ・統合準備協議会を設立しR5年度の統合に向け準備を進めた。		
第2期	2022年度 ・統合準備協議会を設立しR5年度の統合に向け準備を進めた。 ・池田小学校を閉校。	目標・取り組みを達成	
	2023年度 ・川合小学校と統合。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	3,717.88 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	131,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		131,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	463,320円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	5,145,228円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,608,548円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-5,477,548円	市民一人あたり税金充当額	-168円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,473円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-15,007円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川合小学校		No.	344	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	中央
地区	川合

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR3年度に池田小との統合が決定し、R4年度に統合準備、令和5年度に統合。 OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。川合小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、「学校再編の考え方」の見直しに合わせて市内全小中学校の統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
 ※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
	池田小学校との学校統合準備								
	池田小学校との学校統合								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 ・池田小の児童逓減により川合小への統合を検討し、決定。 ・統合準備協議会を設立しR5年度の統合に向け準備を進めた。		
第2期	2022年度 ・統合準備協議会を設立しR5年度の統合に向け準備を進めた。 ・池田小学校を閉校。	目標・取り組みを達成	
	2023年度 ・池田小学校と統合。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和53年
建物延面積	2,975.70 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	249,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		249,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	57,189円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	5,807,881円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,865,070円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-5,616,070円	市民一人あたり税金充当額	-173円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,887円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-15,386円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久屋小学校		No.	345		担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設								
小分類	小学校（校舎・体育館）								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画					
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度		改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	教育部総務課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。久屋小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、今後、児童数の減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） 大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設危険度調査実施 市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> 複数の学校に重大な損傷が発見された。 大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	3,609.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	212,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		212,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	159,050円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,597,798円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		4,756,848円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-4,544,848円	市民一人あたり税金充当額	-140円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,259円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-12,452円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	高山小学校		No.	346	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	高山
地区	水上

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。高山小学校においても躯体自体に損傷が発見されており、今後、児童数の減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） 大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設危険度調査実施 市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> 複数の学校に重大な損傷が発見された。 大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成1年
建物延面積	3,319.56 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	180,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		180,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,080,970円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,277,500円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,358,470円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-5,178,470円	市民一人あたり税金充当額	-159円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,560円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-14,188円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津小学校		No.	347	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。温泉津小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、「学校再編の考え方」の見直しに合わせて市内全小中学校の統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設危険度調査実施 ・市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	2,645.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	274,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		274,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	574,590円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	5,617,538円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		6,192,128円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-5,918,128円	市民一人あたり税金充当額	-182円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,237円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-16,214円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩小学校		No.	348	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	小学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。仁摩小学校においても躯体自体に損傷が発見されており、今後、児童数の減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） 大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設危険度調査実施 市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> 複数の学校に重大な損傷が発見された。 大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和53年
建物延面積	4,541.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.72
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	322,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		322,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	81,600円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	5,931,679円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		6,013,279円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-5,691,279円	市民一人あたり税金充当額	-175円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,253円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-15,593円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第一中学校		No.	349	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	中学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。第一中学校においても老朽化による破損が発見されており、「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合、改築も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） 大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設危険度調査実施 市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> 複数の学校に重大な損傷が発見された。 大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和40年
建物延面積	8,039.76 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	732,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		732,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,286,438円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	11,848,950円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		13,135,388円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-12,403,388円	市民一人あたり税金充当額	-381円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,543円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-33,982円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第二中学校		No.	350	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	中学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。第二中学校においても老朽化による破損が発見されており、「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合、改築も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） 大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設危険度調査実施 市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> 複数の学校に重大な損傷が発見された。 大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> 大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和52年
建物延面積	7,582.56 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.7
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	529,500円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		529,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,287,880円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	7,614,296円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		8,902,176円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-8,372,676円	市民一人あたり税金充当額	-257円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,104円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-22,939円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	北三瓶中学校		No.	351	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	中学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。北三瓶小学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、過小規模校であり、今後の生徒数減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。
第2期	2022年度	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	2,554.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	162,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		162,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	145,200円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,297,348円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,442,548円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,280,548円	市民一人あたり税金充当額	-66円/人
	延床面積あたり税金充当額		-893円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-6,248円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	志学中学校		No.	352	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	中学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。志学中学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、過小規模校であり、今後の生徒数減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。
第2期 2022年度 2023年度 2024年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設危険度調査実施 ・市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	2,754.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	162,000円		施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		162,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	415,091円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,203,558円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,618,649円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-3,456,649円	市民一人あたり税金充当額	-106円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,255円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-9,470円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第三中学校		No.	353	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	中学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	高山
地区	水上

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。第三中学校では、現時点において躯体自体に重大な損傷は発見されていないが、過小規模校であり、今後の生徒数減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。
第2期 2022年度 2023年度 2024年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設危険度調査実施 ・市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	4,334.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	186,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		186,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,084,600円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,187,841円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,272,441円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-5,086,441円	市民一人あたり税金充当額	-156円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,174円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-13,935円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田西中学校		No.	354	担当部署名	教育部総務課		
大分類	05学校教育系施設							
小分類	中学校（校舎・体育館）							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市長寿命化計画				
	有	計画名	大田市学校のあり方実施計画		計画期間	2026年度	改定・見直し 時期	2027
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部総務課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	該当する	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	OR4、市内全小中学校の建物調査を実施。○建物調査の結果、複数校において躯体自体に重大な損傷が発見された。大田西中学校においても躯体自体に損傷が発見されており、今後、生徒数の減少が顕著であることから「学校再編の考え方」の見直しに合わせて他校との統合、改築も含めて検討する必要がある。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
第1期 これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画策定（方針決定） ・大田市学校施設長寿命化計画策定（建物状況の再確認を検討） 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に伴い建物、設備の老朽化状況が判明した。 ・建物等の危険度を詳細に調査し、計画変更を含めた検討が必要であることが判明した。 	
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設危険度調査実施 ・市内全域に学校施設状況を説明 	目標・取り組みを達成	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の学校に重大な損傷が発見された。 ・大田市学校のあり方実施計画における「学校再編の考え方」の修正を検討
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大田市学校のあり方実施計画の修正（「学校再編の考え方」部分） 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和41年
建物延面積	5,313.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	311,000円	駐車場使用料	施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		311,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	993,740円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,208,354円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,202,094円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-4,891,094円	市民一人あたり税金充当額	-150円/人
	延床面積あたり税金充当額		-921円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-13,400円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧富山小学校		No.	355
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	空き校舎			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	機能廃止

担当部署名	教育部総務課
ブロック	東部
地区	富山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度廃校、現在、一部施設を富山まちセンとして改修して利用。 今後、教育施設としての活用は想定できないため、遊休部分の活用が課題である。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	・庁内にて方針検討		
第2期	2022年度	・庁内にて方針検討	進捗していない	・公文書文書館等への活用が検討されたが実現に至っていない。
	2023年度	・庁内にて方針検討		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	2,035.40 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	40,700円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,491,099円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			2,531,799円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		-2,531,799円	市民一人あたり税金充当額	-78円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,244円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-6,936円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧大代小学校		No.	356
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	空き校舎			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	機能廃止

担当部署名	教育部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度廃校。一部、地域で活用されていたが、現在は利用されていない。 現在、施設の一部に石見銀山課の出土物等を保管している。 今後、教育施設としての活用は想定できないため、民間移管も含めた活用が課題である。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度		取り組みが実施できていない	
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	2,304.00 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説+G62G62:K63	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	74,701円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,427,297円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,501,998円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,501,998円	市民一人あたり税金充当額	-46円/人
	延床面積あたり税金充当額		-652円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-4,115円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧井田小学校		No.	357
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	空き校舎			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	機能廃止

担当部署名	教育部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	※これからの協議対象
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度、廃校。 現在、井田診療所、井田薬局、地区社協事務所棟として施設利用されている。令和4年度より井田福祉食堂、企業法人井田屋としても利用。 既に地域、民間により施設利用がなされており、起債償還、補助金等適正化法期間満了後に民間移管等のあり方を再検討する必要がある。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)	
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
共通項目	庁内関係部課協議							
	施設管理者との協議							
	施設利用者との協議							
	第三者委員会による検討							
	市民・利用者への説明							
	方針決定							
	方針決定に基づく設計・整備等							
	関連計画の見直し							
独自	利用開始							
	用途廃止・解体工事							
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	・診療所、薬局、企業組合井田屋等が利用		
第2期	2022年度	・地域食堂が利用	目標・取り組みを達成	・遊休部分が減少
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	798.05 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	177,100円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,689,225円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			1,866,325円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		-1,866,325円	市民一人あたり税金充当額	-57円/人
	延床面積あたり税金充当額		-2,339円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-5,113円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田幼稚園（旧井田小学校内）		No.	358
大分類	06子育て支援施設			
小分類	幼稚園			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	教育部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度より休園。 施設は、井田診療所として施設利用されている。 令和3年度、幼稚園としての活用は困難であるため、文科省手続き、条例上の廃止を実施。建物の活用については継続的に検討する。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・条例一部改正及び文部科学省手続き実施。 ・地元説明。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・条例一部改正及び文部科学省手続き、地元説明は完了。 ・引き続き、施設利用を検討する。
第2期	2022年度	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の検討。 	取り組みが実施できていない	
	2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の検討。 		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	830.56 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	富山幼稚園		No.	359
大分類	06子育て支援施設			
小分類	幼稚園			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	計画期間	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	教育部総務課
ブロック	東部
地区	富山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度より休園。現在まで施設利用の実績なし。 譲渡希望者があれば、譲渡を検討する。 今後、幼稚園としての活用は困難であるため、文科省手続き、条例上の廃止を実施。建物の活用については継続的に検討する。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)					第3期 (2028~2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 ・条例一部改正及び文部科学省手続き実施。 ・地元説明。		・条例一部改正及び文部科学省手続き、地元説明は完了。 ・引き続き、施設利用を検討する。
第2期	2022年度	取り組みが実施できていない	
	2023年度		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	251.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市立学校設置に関する条例
設置(目的等)	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的として設置。
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路教職員住宅			No.	361
大分類	05学校教育系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部総務課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	②民間移管
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、2棟中1棟を利用中（利用者なしの期間が長く続いていた。） ・大田市街地を中心に民間貸付住宅施設が多数あるため、市営の教職員住宅施設の存在意義が希薄になっている。 ・老朽化が進んでおり、今後、大規模改修等のイニシャルコストの増加が予想される。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	方針検討								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 ・大田市から施設利用者へ、今後、改修等により当該施設を維持する方向にないことを説明。		・施設利用者には一定の理解が得られた。
第2期	2022年度 ・市営住宅化、民間移管等も含めてあり方を再検討する。	取り組みが実施できていない	
	2023年度 ・市営住宅化、民間移管等も含めてあり方を再検討する。		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成11年
建物延面積	139.12 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	360,000円	家賃	施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		360,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	3,300円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	88,500円	保守委託料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		91,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		268,200円	市民一人あたり税金充当額	8円/人
	延床面積あたり税金充当額		1,928円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	735円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧祖式小学校（社会教育課）			No.	362
大分類	05学校教育系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部総務課
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度、高山小学校への統合により閉校。その後、建物、用地の大部分を福祉施設、まちづくりセンター、民間倉庫等に活用している。 ・現在、福祉施設隣接地に小規模な建物が1棟残っている（調理室） ・公共での利用が見込めないため、民間もしくは地域での活用を検討する必要がある。活用がない場合は、廃止を検討する。 							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)					第3期 (2028～2033年度)		
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
独自	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度			年度		←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	・庁内にて方針検討		
第2期	2022年度	・庁内にて方針検討	取り組みが実施できていない	
	2023年度	・庁内にて方針検討		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	63.26 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設の写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額		円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数						0	